

令和8年9月1日

【照会先】

健康・生活衛生局 健康課 地域保健室

室長 斎藤 基輝（内線 2331）

担当 大野・田島（内線 2335）

（代表電話）03(5253)1111

報道関係者 各位

第78回「保健文化賞」受賞者が決まりました

「保健文化賞」受賞者について、別紙のとおり公表します。今回の受賞者は、団体10件、個人5名です。

保健衛生の向上に取り組む団体・個人を顕彰する「保健文化賞」は、昭和25年に創設されて以来、第一生命保険株式会社が主催し、厚生労働省、朝日新聞厚生文化事業団、NHK 厚生文化事業団の後援により毎年継続して実施しています。

第78回保健文化賞受賞者一覧

(敬称略)

(別紙)

受賞者名(団体・個人)	都道府県(※)	業績
社会福祉法人 安積愛育園 はじまりの美術館	福島県	「障害者アート」の枠組みにとらわれず、多様な表現活動を通じて障害に対する先入観の払拭と他者理解の機会づくりを行うとともに、「寄り合い」等を通じた孤立の防止及び社会との接点づくりに貢献している。
医療法人愛和会	埼玉県	長年にわたり母子保健に貢献するとともに、周産期医療の専門性を生かした「いのちの授業」を通じて生命教育への取り組みや、乳がん検診等を含む幅広い医療の提供を通じて、安心して出産・育児ができる地域づくりに貢献している。
特定非営利活動法人 アジアの障害者活動 を支援する会	東京都	ラオスにおいて障害者の教育・スポーツ・就労支援の推進や政府と連携した制度構築に取り組むなどの活動を通じ、持続可能な社会基盤づくりに寄与し、障害者の社会参加促進と持続可能な社会基盤の構築に貢献している。
特定非営利活動法人 Light Ring.	東京都	若年層の自殺対策が重要な社会課題となる中、13年にわたり若者同士の支え合い活動を推進し、精神的不調や孤立を抱える若者と「支え手」への継続的な支援を通じて自殺対策及び地域の支援体制の充実に貢献している。
にいがた摂食嚥下障害 サポート研究会	新潟県	摂食嚥下障害に関する研究及び診療の豊富な実績を基盤に、産学連携による普及啓発活動等を推進するとともに、介護食品・介護食器具の開発や研究会の運営に取り組んでおり、摂食嚥下に係る分野や介護分野の発展に貢献している。
静岡県立静岡がんセンター 疾病管理センターよろず相談	静岡県	がん相談支援の全国的な制度化に先立ち、「よろず相談」を実施するとともに、相談記録の分析結果を体系化し、全国展開につながるモデルを示すことで、全国のがん相談支援の質向上に貢献している。
認定NPO法人 国際ビフレンダーズ 大阪自殺防止センター	大阪府	自殺を考える人への危機介入や遺族への支援、啓発活動に幅広く取り組み、全国から寄せられる多数の相談に対応するとともに、地域の関係機関への専門的助言を通じ、自殺対策及び地域の支援体制の充実に貢献している。
特定非営利活動法人 食べて語ろう会	広島県	家庭環境に恵まれない子どもや生活に困難を抱える高齢者、障害者、外国人に対し、食事支援や自立支援を幅広く実施するとともに、継続的な見守りと支援を通じて、誰もが安心して暮らせる地域づくりに貢献している。
認定NPO法人 福岡こどもホスピス プロジェクト	福岡県	重い病気や障害のある子どもとその家族に対し、体験・外出支援や遺族支援などの包括的な支援を行うとともに、小児緩和ケアの普及啓発を継続的に推進することで、子どもと家族のQOL向上と社会的孤立の防止に貢献している。
特定非営利活動法人 Okinawa Hands-On NPO	沖縄県	学校や自治会等の地域団体と連携し、学習支援や生活支援、食農体験等多世代が参加する活動を展開しており、異世代交流の促進や地域とのつながりの強化を図り、人材育成及び子育て支援の推進に貢献している。
加藤 進昌	東京都	発達障害者の社会参加を支援するため、発達障害専門外来、デイケアの開設及び支援体制の整備に取り組むとともに、社会生活技能訓練や就労支援を体系化するなど、発達障害領域の先駆者として貢献している。
板東 あけみ	京都府	35年以上にわたりベトナムでの障害児支援事業を推進するとともに、「母子手帳」の諸外国への普及や低出生体重児支援の全国展開、母子・障害児支援等を継続的に実践し、母子保健の向上に貢献している。
河野 美代子	広島県	40年以上にわたり、特別養子縁組のあっせんに尽力するとともに、産婦人科医としての専門性を生かした養親と、子どもを託した実母双方への精神的・身体的ケアを継続し、子どもの命と健やかな成長を支える地域づくりに貢献している。
花田 道子	福岡県	長年にわたり障害児の運動機会確保に継続的に取り組み、アダプテッド・スポーツの推進を通して、障害児の健康維持・健康増進のみならず、障害児の保健に関する教育活動を通じて地域保健文化の向上に貢献している。
大原 万里亜	長崎県	特別支援教育の経験を基盤に、布ナプキンを活用した生理に関する教育を学校や地域で継続的に実践し、女性の健康に関する理解と自己肯定感の向上を図るとともに、命と健康を大切にする地域文化の醸成に貢献している。

※受賞時点の団体所在地・個人居住地